

平成 30 年 9 月 14 日

【News Release】

BIM を活用した建築確認における課題検討委員会発足のお知らせ

日本 E R I 株式会社（代表取締役社長：馬野俊彦）と一般財団法人日本建築センター（理事長：橋本公博）は、建築確認に携わる関係者の業務の円滑化・効率化に寄与するため、委員会を発足させて、BIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）を活用した建築確認の課題解決のための検討に着手することをお知らせします。

委員会は、委員長を松村秀一東京大学大学院教授、委員を学識経験者、国立研究開発法人建築研究所、指定確認検査機関で構成し、オブザーバーとして国土交通省等が参加する予定です。また、BIM ベンダー等に協力を呼びかけます。

当面は、BIM モデルを活用した建築確認の 2 次元図面の効率的な作成や建築確認における的確で円滑な審査のため、確認申請用テンプレート（BIM モデルから作成する建築確認に必要な図面表現標準をいう。以下同じ。）の作成と、確認申請用テンプレート作成に必要な属性情報を定めるためのガイドラインの作成を目指します。

将来的には、BIM を活用した建築確認のさらなる円滑化や国際協調等に取り組みます。

1. BIM について

- ・ BIM とは、コンピュータ上に作成した 3 次元形状情報に加え、室等の名称・面積・仕上げ、材料・部材・設備の仕様・性能といった様々な属性情報を併せ持つ総合的な建物情報モデルを構築するシステムである。
- ・ 建築分野において計画から設計・施工・維持管理までのプロセスで、所要の属性情報を付加することにより利用の広がりを見せている。

2. 海外及び国内における建築確認等での BIM の活用状況について

- ・ シンガポールでは、2015 年より 5,000 m²以上の建築物の申請に BIM データの提出を義務付けている。英国、ノルウェーでも BIM 利用のガイドラインの策定等が行われている。
- ・ 国内では、近年、建築確認で BIM が活用され始めている。平成 28 年に BIM データを使用した確認申請手続きによる 4 号建築物の確認済証交付の事例（株式会社住宅性能評価センター）が公表された。さらに、本年 3 月には 2,000 m²以上の非住宅建物において、クラウドを利用して BIM データにより事前審査した事例（一般財団法人日本建築センター）や、本年 6 月には BIM ビューアースoftwareを使用した電子申請による RC 造戸建て住宅の確認済証の交付の事例（日本 E R I 株式会社）などが公表されている。

3. BIM を活用した建築確認の課題と検討体制・検討内容について

（1）課題

- ・ BIM モデルを活用した建築確認の 2 次元図面の効率的な作成や建築確認における的確で円滑な審査のため、確認申請用テンプレートの作成と、確認申請用テンプレート作成に必要な属性情報を定めるためのガイドライン（以下単に「ガイドライン」という。）の作成が近々の課題である。
- ・ また、法令改正に伴うガイドラインの見直し等の継続的運用をはじめ、BIM を活用した建築確認のさらなる円滑化を見据えた課題（確認審査用 BIM ビューアースoftwareのあり方検討等）や国際協調等、併せて取り組むべき課題もある。

(2) 検討体制・検討内容

①平成 30 年度

- ・委員会（委員長：松村秀一東京大学大学院教授、委員：学識経験者、国立研究開発法人建築研究所、指定確認検査機関、オブザーバー（予定）：国土交通省等）を発足させて検討する。検討に際し、BIM ベンダー等に協力を呼びかける。（事務局は一般財団法人日本建築センターと日本ERI株式会社。）
- ・検討内容は次のとおり。
 - ・確認申請用テンプレートの検討
 - ・ガイドラインの検討
 - ・BIM を活用した建築確認の継続的運用、さらなる円滑化方策等の検討

②平成 31 年度～

- ・BIM を活用した建築確認の継続的運用、さらなる円滑化の課題解決、国際協調等のため、産・学・官の関係機関と団体により構成する推進協議会を設立し、所要の活動を行う。（学識経験者、特定行政庁、指定確認検査機関、設計事務所・建設業・住宅産業等の団体等に幅広く参加を呼びかける。）

(3) スケジュール

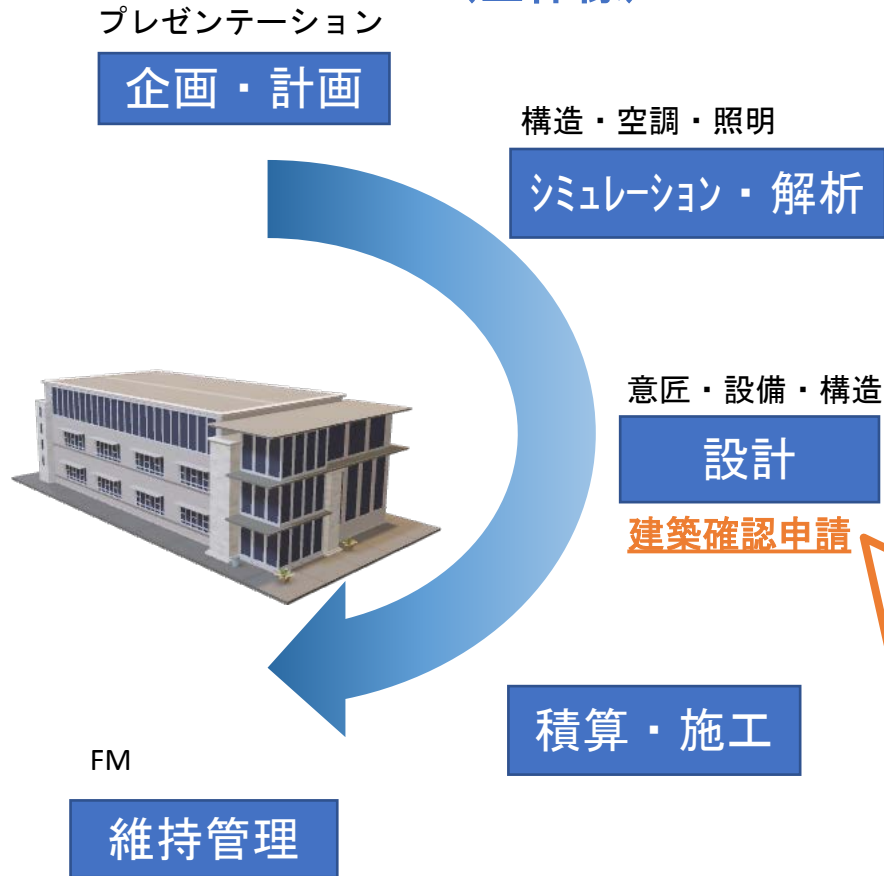
| | |
|-----------------|---------|
| 平成 30 年 10 月 | 委員会発足 |
| 平成 31 年 4 月（予定） | 推進協議会設立 |

別添「委員会での検討イメージ図」参照

問合せ先

| | | | |
|-----------------------|-------|---|------------------|
| 日本ERI株式会社BIM推進センター | 関戸 | : | TEL 03-3796-0223 |
| 一般財団法人日本建築センター建築技術研究所 | 今村・小野 | : | TEL 03-5577-7884 |

建築分野におけるBIMの利用
(全体像)

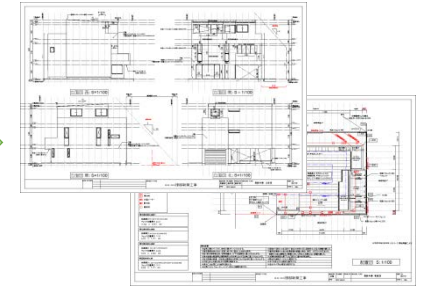


委員会の検討内容 (一部)

(室等の名称・面積・仕上げ、
材料・部材・設備の仕様・
性能等)

属性情報

確認申請用テンプレート作成に
必要な属性情報を定めるための
ガイドラインの検討



出典：AUTODESK社

確認申請用テンプレート

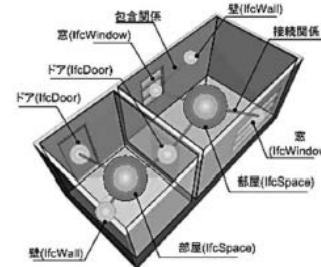
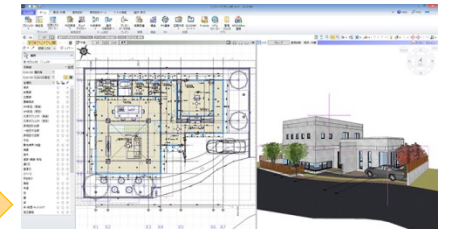


図2 IFCによる3次元建物モデル表現の例

出典：BRI えびすとらVol.73

3次元形状情報

BIMを活用した建築確認のさらなる
円滑化の課題(確認審査用BIMビュー
アーのあり方検討等)の検討



出典：福井コンピュータアーキテクト社

確認審査用BIM
ビューアー

(委員：学識経験者、建築研究所、指定確認検査機関、
オブザーバー(予定)：国土交通省等、協力(予定)：BIMベンダー等)